



Gakko

Do Uemura

OMOTE

OMOTE

KuKuRuZA
japanese

Travelogue



旅に出るときは、いつも不安になる。
ちゃんと電車に間に合うだろうか、とか
ちゃんにご飯が食べられるだろうか、とか
ここに帰ってこれるのだろうか、とか。

だから、旅する人たちを見ると、いつもその
勇気に感心する。

旅する人は、僕の憧れだ。



できれば新幹線じゃなくて、クルマで行きたいのだけれど、
家族がそんなことを許してくれるわけもなく、何だか出張
みたいだな。

新幹線にはあまり旅情を感じない。





ゴールデンウィークが明けた今頃から祇園祭まではこれといった目玉がないせいだろうか。京都は観光客が細る季節だろう。その穴埋めに、東から来る列車が到着するたびに修学旅行生が降りて来る。でも、今の京都は一年で一番過ごしやすい季節だよ。

これにバスも加わるだろうから、今夜あたりの新京極は、お土産を抱えた高校生や中学生でいっぱいなんだろうな。



さて、まずランチ、だな。

どうにも趣味に合う駅弁というのに巡り合わないので、駅ビルにあるブルディガラでこのサンドイッチのセットを。

少々お高いので、普段は単品のサンドイッチにするんだけど、今日は旅行だからね。ちょっと張り切りました。

かみごたえのあるパンを、引きちぎるように食べるのが嬉しい。

わざわざ家で紅茶をポットに淹れて、持って来てしまった。



富士山、だよな。

日本人ならみんな富士山が好き、なのかな一般的には。

僕は家の近くや故郷にある山の方が好き。

アイドルに興味が無かったのと似た感情かも。

まあ、なんかで登る機会があれば、好きになるかも。



やっと着いた。新幹線でイメージしてたのより遅いな。
「ここは大阪駅」とか言われても違和感ない。
もうちょっと、東京感醸し出してほしいな。



ああ、これが噂に聞く右側通行か。どうして関西と逆なんだろうなあ。



さてホテルに行く前に、東京タワーに行く。
どうしてスカイなんかじゃないかというと、
昭和の生まれだから



なに、このワープリングのようなつり革の持ち手！
輪っかじゃないんだ。
これだと、前に持ってた人と同じところを触るのがキモ

いから、輪っかを回すってのが出来ないじゃない。





東京タワーだなあ。インパクトでは京都タワーに負けてるなあ。



こういうのがあっちこっちにあるんだ、へえー。
排気ガス吸って、タバコ吸って、、、何がいいんだか。



唐突にお寺が。



来ましたー。お天気まいちだけど、特別展望台は改装中で上がれないけど、そして高所恐怖症なんだけど。東京タワーはなんといっても昭和の象徴。



パリの凱旋門のような感動はないけど、東京って
広いんだなあ、山が見えない、っていうのは京都
大阪とは違うとこだなあ。今は高いビルも増えた
けど、立った当初は見下ろし感が半端なかったん
だろう。



平日だからこれぐらいなのかな。

僕は高所恐怖症なんですが、、、カメラ持っていると大丈夫。



移動が続いてくたびれたので、世界貿易センタービル地下のカフェで一服。ビルの地下なので期待してなかったんだけど意外にもコーヒーが美味しい。ちょっとトロツとした飲み口。ミルクフィークもまたよし。



さて、次はメトロでホテルに向かう。



お、今度は涙滴型かあ。まるでサラリーマンの涙だな。わっはっは。



噂に聞いてたほど混んでない。



チェックイン後に外出。坂道多いなあ。
しかも再度登るために下る坂道が多い。



あった。ブーランジュリー。東京ってパン屋さんが少ない。
なんだか、チェーン店ぽいけど背に腹は変えられぬ。
うちなんてローカルな駅なのに、駅周辺に4軒もあるのに。
京都市内も犬も歩けばパン屋に当たるって感じだしなあ。

さてと、晩御飯はどこにするかなあ。



夕食の後は少し歩いてコーヒーを飲みに。

ここはうちの近くに本店があるお店で、スペシャルティクラスの豆を専門に扱ってるUnirの赤坂店。



僕のオススメはエスプレッソのダブルにお砂糖をいれて混ぜないで飲む飲み方なんだけど、今日は二人なのでカプチーノをお願いします。



平日の夜なのにこれかあ。東京は華やかだなあ。







赤坂御用地の出入り口に何やら取材の人ばかりが、
そういえば、昨日皇族のなんとかさんが結婚するとか
なんとか、ニュースでやってたな。
なんだろ？コメントでも取るのかな。
クルマで通過するだけだろうから、写真だけかな。

もしこんな仕事やれっていわれたら、絶対辞める。



着いた一。方向音痴な僕が、何度かピンチにあったけど
地図ソフトのおかげで予定通りたどり着けたよ一。
ああでも「最高のミュシャに会う。」っていうコピーは
行けてないなあ。「最後の、、、」がいいと思う。



同時開催、草間彌生。

とても残念だけど、僕にはこの人の作品はわからない。

現代アートは見方がわからないし、語る知識もない。



入場券売り場に午前10時でこの待ち行列。
だがしかし、ネットで券を買っておいたので、待たずに入れるのです。偉いぞ、一昨日の僕。
今日、京都に帰るので、あまり並んでいる余裕はないんだよね。

もう一泊すればよかったかなあ。東京は結構楽しい。



ポスターから始まるのかと思ったら、まず「スラブ叙事詩」からだった。
疲れる前に見れるのはいい。これを見に、京都から来たんだから。
そしてこの部屋は写真撮影可。

この巨大な絵は板には貼られていなくて、キャンバスの各辺に空けられた
穴を紐で引っ張ることで、張力を与えて平面にしているらしい。
写真ではわからないよなあ。



スラブ叙事詩は、教会のステンドグラスのようなものなのだろう。文字を読めなくても、老人が孫の手をひいて、この絵をみながら、スラブ人の物語を語り継ぐことができる。そういう絵なんじゃないかな。



その場面の主役、王でも指導者ではなく、民衆に光が当てられているのは、そのせいだと思う。これはあなたの物語だ、とミュシャは言いたいのだろうと。

テンペラを使っているのもその意図のせいかもしれない。

中世のフレスコ画的な造形や、時には遠近法を無視した描き方をする意味。

ミュシャは、パリでは画家として認められなかったのだろうか、とかいろいろ、想像し、考え、答えを探す展覧会だった。



12時時点でこの入場待ちの行列。



それは1階にも続いていて、さらに入場券売り場にも待ち行列が。1時間ぐらいは確実にこの行列の中を歩かないと行けないだろう。平日なのに。でも、みなさんディズニーランドとかで慣れてるのかな。僕は行ったことないけど。これからも行かないけど。



せっかく東京に来たので、表参道とやらに行ってみることに。
地下鉄で移動だと、暗いトンネルしか見えないので、歩いて見た。

なんだこの、屋根の上の家は。今にもミーが出て来そうじゃないか。
これはなかなか、痺れる光景だな。



僕でも知ってる高級なお店が連なっている。
でも大半の人は、素通りしているだけのよう。
大阪、京都にはない風景だな。神戸がちょっと似てるかも。
やっと東京に来たって感じがして来た。お昼ご飯食べたら帰るんだけどね。
ええっと、この辺りを左折して裏通りへ、、、と。



こういうことを言うと怒られるかもしれないけれど、
周りの鉄とガラスの高層ビルとは合わないなあ。
建築物は、その地の歴史と景観の一部でなければなら
ないというけれど、周囲の時代と合わなすぎて、取り
残された物の寂しさを感じる。
京都駅は、、、あれはあれで問題ありだけど。



米原駅で爺さんが線路に入り込んで、列車が止まってしまった。
ほんとなら、もう京都駅についているはずだったのに。
出張帰りの人たち、かわいそうだな。



でも、この夕暮れに巡り会えたのは幸運だった。
今度の旅は最初から最後まで、いいことばかりだったな。
、、、ま、いつもそうなんだけどね。



ただいま。

次はどこに行こうかな。

真下魚名の既刊

[春の野を行く](#)

[Trabelogue ep.12 桜咲くみち](#)

[京都路地入-Kyotologie- 学校の桜](#)

[passer un après-midi 14](#)

[コトノコト II](#)

[コトノコト](#)

[京都路地入-Kyoutologie- 雪 嵐山](#)

[Essai](#)

[からくれないに V](#)

[からくれないに IV](#)

[からくれないに III](#)

[からくれないに ni](#)

[からくれないに](#)

[林檎の樹の下で](#)

[Travelogue ep.11 青い森の国へ](#)

[晩夏を探して II](#)

[京都路地入-Kyotologie- 八朔](#)

[京都路地入 -Kyotologie - 前祭](#)

[Flower Garden III Hydrangea](#)

[Flower Garden III](#)

[お散歩カメラ](#)

[京都路地入-Kyotologie- 軒の下ガーデン](#)

[Travelogue ep.10 ランチに間に合えば](#)

[たそ彼時まで](#)

[京都路地入-Kyotologie- 鴨川](#)

[passer un après-midi 13](#)

[梅催い、晴れ](#)

[京都路地入-Kyotologie- 二条通](#)

[passer un après-midi 12](#)

[京都路地入-kyotologie- えべっさん](#)

[京都路地入-kyotologie- 京都駅0番線](#)

[le temps](#)

[京都路地入-kyotologie- 御所一般公開](#)

[Travelogue ep.9 ここのPizzaは出前を頼めない](#)

[京都洛以外-Kyoto Lucky guy 2](#)

[Travelogue ep.8 タルトまで60km](#)

[京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)

[Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)

[passer un après-midi 11午後の過ごし方](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭 後編](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭](#)

[京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)

[京都路地入-kyotorogie 一保堂](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭](#)

[後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方](#)

[Monochrome](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方](#)

[Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo 「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ —

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のアリア」](#)

[「黄金の麦畑」 1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

[3.Adajo](#)

[「黄昏の王国」](#)

[イーリアス編](#)

[アリス編](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo 「Hina」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo 「bleu, jaune, vermillon」](#)

[Photo 「H.45」](#)

Photo「Fly me to Paris I～XIV」

[Photo「祇王 こけのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

「ネガティブズ2」

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンス あこのろの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)

[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)